

第57回

岩国祭

10月19日・20日

挑戦

今年も、秋の祭典「岩国祭」が、JR岩国駅前周辺で行われ、約10万人の人出でにぎわいました。

第57回目となる今回は「“挑戦” 切り開け!! 岩国の可能性」をテーマに、多彩な催しが繰り広げられました。吹奏楽パレードや、子どもから大人までさまざまなグループが披露したダンスやよさこい踊りには、歓声と拍手が送られていました。

終盤には、歩行者天国をパレードや市民総踊りが練り歩きました。大きなシロヘビが登場すると、沿道に集まった人は、手を伸ばして触ったり写真を撮ったりと、迫力ある姿を見物し、楽しみました。また「岩国よいとこ総踊り」には約500人が参加し、周囲の人と肩を組んで息の合った踊りを披露しました。会場は活気と熱気に包まれて一体となり、幕を閉じました。





切り開け



岩国の可能性



素敵なステージに 拍手喝采

10月6日、美川グラウンドで「美川ふるさとまつり」が開催されました。ステージでは太鼓、太極拳、神楽、フラダンス、キッズダンス、よさこい踊りなどが開催されました。また、ちびっ子・チャレンジ・健康広場などのコーナーも行われ、来場者は楽しい一日を過ごしていました。



元気よく はっけよ〜い、のこった！

10月15日、本郷町の秋の恒例行事となっている「本郷八幡宮奉納子供相撲大会」が開催されました。

低学年、中学年、高学年の男女別、今年から2チームに分かれての団体戦も実施されました。途中、水入りを挟む取り組みなど、白熱した取り組みとなりました。

Iwakuni City Topics | まちの話題



どれが大きい？ サツマイモ収穫体験

10月17日、美和町渋前の休耕田で、さかうえ保育園の園児46人が6月に定植体験をしたサツマイモの収穫を行いました。錦農村後継者クラブと地域の皆さんと一緒に、園児たちはスコップや素手で土を掘り起こし、大きく成長したサツマイモが土から顔を出すと「大きいよお〜♪」と歓声を上げていました。



第66回 玖西連合肉牛共進会

10月20日、周東ふれあい広場で「第66回玖西連合肉牛共進会」が開催されました。

肥育農家で大切に育てられた黒毛和種「高森牛」が審査され、最優秀牛には(有)岩国ファーム「肉用牛」号(体重=782kg)が選ばれました。その後、牛の競り市や子牛の体重当てクイズなどが行われました。



自主防災の 大切さを学ぶ

10月20日、由宇文化会館で「由宇地域総合防災訓練」が実施され、由宇地域の住民、約120人が参加しました。防災アドバイザーの幸坂美彦先生の講演会の後、伝達訓練、炊き出し訓練と続き、参加者は人とのつながりを大切にするこ
と、自分が出来る事をするなど、多くのことを学びました。



僕らの自慢の花壇！

10月22日「花いっぱいコンクール」の表彰式が市役所で行われました。今年は10団体、23校から丹精こめた花壇の応募があり、取り組み姿勢・活動成果・デザイン・アイデア・周辺環境への配慮などから審査された結果、学校の部では中田小学校（周東町）が市長賞を受賞しました。



一生懸命に植え替え作業

10月29日、錦清流小学校4年生が「植物観察会」を行いました。この植物観察会は、植物の保護を目的に平成13年から続いています。この日は、現在建設が進められている平瀬ダム付近で5月に採取した植物を、錦町木谷原にある「にしきのふるさと思い出花だん」に移植しました。



玖西盆地を たすきでつなぐ

11月3日「第55回玖西駅伝競走大会」が行われ、男子中学の部21チーム、女子の部15チーム、一般の部21チーム、オープンの部12チームの計69チームが参加し、健脚を競いました。

選手たちは、沿道のたくさんの声援の中、汗を流し、たすきをつなぎました。